

入園のご案内

認定こども園 ちいろぼの杜

(佐久穂町大字八郡2893)

【全体理念】：“0歳から100歳までの子どもたちと共に、いつもここにあるふるさとを創る”

この理念に込められたメッセージを吸い出すと、以下の3つに分けられます。

- ① 「子ども心」： こども園は、「子どもが集う場所」です。いつの間にか大人になった私たちも、ちいろぼとの出逢いを機に、自分の子ども時代や「子どもって何だろう？」という問いに向き合ってほしいと思います。自分の中の「子ども心」に問いかける、そんな時間をお過ごしください。また0-100という言葉は、自然と同じ、垣根がないという意味合いもあります。肩書や立場を超えた人と人とのつながりをここで育んでいきましょう。ここを目指して、日々より交ざり合う場づくりをしていきましょう。
- ② 「いつもここにある」： 変化の激しい時代だからこそ、変わらないものの大事さに目を向けるのも良い時間の使い方だと思います。①の子ども心もそうですが、見た目は変化しても、その内にあるもの、変わらない・見えないもの・見えにくいものを探そうとする目、これを一人ひとりが養い、それが楽しいと思う遊び心を大切にしてほしいと願います。
- ③ 「ふるさとを創る」： 「ふるさと」とは、という問いに対して、僕は「愛着ある暮らしてきた場のこと」と答えます。ちいろぼという場に、関わる一人ひとりが愛着を持てる関わりをしてほしい。そういう後ろ姿を子どもたちが見ている、愛を注ぐありかたを、私たちが示していく。そして、子どもたちも、愛を注ぐものを探す人生の旅に出る。ちいろぼとの出逢いを、そのように考え、関わっていただけたら、いつの間にか、ここはみんなのふるさとになるはずです。「暮らし」というテーマを形にしていく関わり方や、保育の在り方を考えながら、ちいろぼは小さな歩みを続けていくのです。

この3つを、是非感じようと思いながら、せっかくの出逢い、せっかくのちいろぼ生活を、大いに楽しんでもらいたいと思います。子どもたちは、ちいろぼ生活の中で、さまざまな物語を生み出していきます。そこに通う100の感情、100の言葉は、全て子どもたちの生きる糧となり、世界の美しさや、何より「生きるって楽しい」と、心底思えるようになっていくと信じましょう。私たちは、子どもたちの巻き起こす一喜一憂の物語を受け止め、面白がりながらゆったり見守っていく、そんな心持ちを大事に、昨日も今日も明日も生きていきましょう。

【保育目標】：“生きるって楽しい”

保育目標

生きるって、楽しい

[3つの柱]

1 人は、自然の一部である

“自然と共に生きたいという意識は、人と共に生きたいという意識と共通している”

2 自分らしさを光らせる

“自己実現を重ねる中で、自分は人生の主人公なんだという感覚を光らせてく”

3 仲間とつながる喜びを味わう

“仲間と共に生きているから、そのなかで自分の個性が光り輝いていく”

保育方針 織りなす、5つの保育

- ① 受け止めて、送り出す
- ② 対話をする
- ③ 関心に関心を持つ
- ④ 足場をかける
- ⑤ 信じて任せる

1. 入園について（毎年）

対象入園者：

- ② 1～2歳児若干名 * 保育所部分
- ③ 年少児(7 枠程度) * 原則幼稚園部分のみ(1～2歳児が持ち上がるため)
- ④ 2026 年度年中以上児： 枠があり次第

なお**入園希望(幼稚園部分・保育所部分併せて)の場合は、説明会への参加は必須ですので、早めにお申し込み下さい。**

次年度の**途中入園募集(年中以上)**は現時点では行う予定はありませんが、状況次第では臨時的に行う場合も大いにございます(新年少枠が埋まらなかった場合等)。途中入園希望の場合にも、今回の説明会にもご参加いただけますので、興味のある方は、是非ご参加ください。その後**原則キャンセル待ちでの対応とさせていただきます**。(ただし必ず、入園できるとは限りませんのでご了承下さい。)

〔入園説明会について〕* 要申し込み

時期： 毎年 7～8 月ごろ ZOOM にて

* 説明会告知を、4 月中旬ごろ HP にて行います。

参加対象者：入園を希望される保護者の方

申し込み： 必ず、HP の〔お問い合わせフォーム〕からお願い致します。

その他： 予定が合わず、参加できない場合はお気軽にご相談下さい。

見学等もご相談下さい。

〔* 注意点！募集について〕

・【保育所部分への入所を希望される方へ】

保育所部分の選考に関しては、園の裁量ではなく就労状況やこれまでのちいろば在籍歴、兄弟関係等により、行政が総合的に判断し、最終的に入園可否が決定します。そのため、**年少以上の入園**に関しましては、一度【幼稚園部分】への入園希望をしていただくことになり、その後枠の調整が可能な場合のみ、保育所部分への移行ができる場合があります。

1, 2 歳児でそれぞれ保育所部分が 2 枠埋まっている場合、そのまま、その 2 枠児が上に持ちあがっていくのが基本的な考え方となっております。

その為、実質年少以上に関しましては、幼稚園部分への入園を前提とした考え方となります。(保育所定員:1~5歳児、各年齢2枠ずつの計10枠(佐久穂町在住者のみ))

・【願書受付後の流れ】

9月中旬ごろ 願書受付 順次 入園面談(見学がてら直接が望ましい)

10月下旬ごろ 入園内定(*定員超過の場合は、抽選(幼稚園枠))

11月~ 定員枠がある場合のみ追加募集

2月 入園決定者説明会(ZOOM)

3月 顔合わせ寄合(現地)

・【Q&A ①申し込み時点で佐久穂町や近隣に住所がなければいけませんか?】

幼稚園部分への入所申込については、入園直前の対応で構いません。

保育所部分に入所を希望される場合は、佐久穂町への入所申込時点(11月初旬ごろ)に住民票が【佐久穂町】にあることが望ましいです。一時的な住民票の移動等は受けられませんので、ご注意ください。

・【Q&A ②見学、一時預かり等は受付けていらっしゃいますか?】

特別なイベント日以外は、時間9:30~14:30で受け付けております。

見学等お問い合わせは、本HPのお問い合わせページから、またはお電話(0267-78-3919)でお願い致します。

また、一時保育のお問い合わせも可能ですが、事前面談や、事前親子登園等必須となりますので、ご相談ください。

・【説明会について】

入園説明会では[理念とビジョン]の話が多くなりますが、むしろ私どもとしては、理念・ビジョン理解と共感、コミュニティへの参加意志及び入園が家族の幸せにつながるかが最大の入園条件となります。サービスを受けるための施設ではなく、集う0~100歳までのあらゆる仲間に、一人一人がそのかっこいい、ステキな後ろ姿を見せるためにコミュニティに参加する・関わる、そのためのちいろば、というのが僕らの目指したい園の姿です。ですから、予めお伝えしておきますが、一般的なあらゆる保育サービスやお客様サービスを施す場、子どもを預かれるから預かる場ではありませんので、その点、ご了承頂いた上で、入園を考えて頂けたら大変嬉しいです。宜しくお願い致します。

2. 利用定員について

年齢区分	子どもの数（異年齢保育）		
	1号認定児（幼稚園）	2, 3号認定児（保育園）	計
1歳児	なし	2	2
2歳児	なし	2	2
3歳児	5	2	7
4歳児	5	2	7
5歳児以上	5	2	7
計	15	10	25

〔* 定員以上の応募がある場合の選考基準〕

1号認定子どもについては、施設の設置者が定める選考基準（選考方法）に基づき選考することを基本とする。2号・3号認定子どもについては、定員以上に応募がある場合、優先利用に配慮しつつ、保育の必要度に応じて選定する。ただし、1～3号認定の子ども、いずれも事前に〔見学、入園説明会〕への参加および〔事前調査書〕の提出、事前面談実施を必須とし、（1号認定の）選考に関しては、面談を行い、十分な理念理解と、自然保育に関するリスクと学びを理解したことを前提とし、入園の可否を決める。

またキャンセル待ちに関しては、リストを保持し、年少＞中＞長の順に入園優先順位を考える（但し、園全体の男女比は考慮し、リストが前後する可能性もある）。基本、定員枠が空いた場合に先着順で声をかけ、すり合わせをし、問題がなければ入園許可となる。

この際に、兄弟関係の優先は考えないこととする。

3. 保育時間について

区分		1号認定 (3歳児以上)	2号認定 (3歳児以上)		3号認定 (1・2歳児)	
		教育標準時間 (5.2時間)	保育短時間 (最大8時間)	保育標準時間 (最大11時間)	保育短時間 (最大8時間)	保育標準時間 (最大11時間)
開園時間		9:10～18:40	7:40～18:40	7:40～18:40	7:40～18:40	7:40～18:40
保育及び教育時間		9:10～14:30 (5.2時間)	7:40～15:40 (8時間)	7:40～18:40 (11時間)	7:40～15:40 (8時間)	7:40～18:40 (11時間)
預かり・延長時間		14:30～17:30 (要事前連絡) (30分/225円) +おやつ代	15:40～18:40 同左	*17:10を超える場合は要前月連絡	15:40～18:40 同左	*17:10を超える場合は要前月連絡
開園日		月～金 約200日～210日	月～金 約240日前後	月～金 約240日前後	月～金 約240日前後	月～金 約240日前後
休園日		土日祝日 約95日	土日祝日 約95日	土日祝日 約95日	土日祝日 約95日	土日祝日 約95日
長期休園日	夏休	目安 7月25日～8月20日前後	目安 8月8日～8月17日前後		目安 8月8日～8月17日前後	
	冬休	目安 12月25日～1月10日前後	目安 12月28日～1月5日前後		目安 12月28日～1月5日前後	
	春休	目安 3月21日～4月6日前後	目安 3月27日～4月3日前後		目安 3月27日～4月3日前後	

*新学期早々の4月は、全体として【**出逢い保育期間 (徐々に新生活に慣れていく)**】と位置付けます。

保育開始の1～2週目は預かり保育を行わず、2, 3号さんも個別に慣らし生活を設定させてください。また新入園児に関しては、毎日登園でなく週3～4日の関わりでGW以降の完全登園を推奨させていただきます。バス運行は、新入園児は、GW後からの実施といたします。

***長期休暇中・金曜日・その他園の事情**によりの1号認定児の預かり保育は致しません。

***全体会議・研修等の実施**により、1～3号の区分に関わらず早めの降園・休園にご協力いただく場合がございます。

年間予定で予め定めているものもありますので、必ず事前に予定調整をお願いいたします。

***降園時刻を過ぎた場合 (指定降園時刻を6分以上過ぎた場合)**、預かり保育代を請求致します。

コドモンの登降園管理を各自徹底していただくようお願い致します (請求管理はコドモン時刻で計算します)

***出欠連絡 (朝8時まで)**、各種変更なども、必ずコドモンを通しての連絡をお願い致します。病欠の場合は、

内容を詳しくお教えください (発熱ならば、「体温 (いつ時の) ・子どもの様子・受診予定」を必ずご記入ください)

[登・降園時間]

7:40～9:00	9:10～9:25	9:10～14:30	14:10～14:30	15:20～15:40	15:40～18:40
2号児 3号児 登園	1号児 登園 朝の会 セーフティートーク	保育・教育 共通時間 暮らしの時間	1号児 降園	2号、3号 短時間児 降園	2号、3号 標準時間児 降園

4. 食事について(有機つながり給食「ちいろばごはん」について)

本園においては、つながりを持った生産者の食材を主に使い、自園調理を行っております。子ども達の年齢にあった食事を健康に配慮し、安全で安心できる食材を使って調理し提供致します。尚、世の中一般の栄養学に基づいた食事というよりは、理念に基づき、つながりやその時の旬を有機食材を中心に考えられた食事を目指しています。

食物アレルギー対応については、園と家族と話し合いの上対応を決めさせていただきます(除去食対応の場合は、アレルギー検査結果表の提出が必須となります)。

***原則アレルギー検査結果等がない場合、除去食・個別食対応等は致しません。また、その他、家庭の方針(家庭生活)と園の方針(社会生活)は分けて考えていただくよう予めお願い申し上げます。)**

***園の性質上、野外に自生しているものは、保育士の指導の下食べることが多々あります。「暮らし場」に欠かせない活動です。過去アレルギー症状が少しでも出たことがある場合は、事前に詳細を必ずお伝え、ご相談ください。また、地域の方に頂いた野菜等も、食材として使うこともございます**

***給食キャンセルは特別な事情(22p記載の法定伝染病罹患(要受診、診断もしくはみなし欠席時)と場合によっては登園許可証)・入院・忌引き等)や前月20日までに予め欠席すると申告されたもの以外、原則不可**

***注文は前日まで(*1日10人限定・かぞくさん会の日など、かぞくさんが大勢集まるとわかっている日は受付しない。)**

年齢区分	1号認定児	2, 3号認定児	内容について
1歳児	園児受入なし	昼：給食 延長時：おやつ 1・2歳：朝のおやつ *1歳児のお子さんには、家庭と連携しながら離乳食を提供。 月齢、発達状況に応じた普通食への移行を進める。	主菜：豆、肉(主に豚肉)、魚等タンパク質類 副菜：有機野菜中心の煮物、サラダ、和え物等 汁物：みそ汁、スープ 主食：ご飯中心(分づき米) デザート：(時折)季節の果物 [週5日の給食提供] 保育室にて各自の食事量にあった昼食を取る。園外に出て昼食をとる際は、自園で調理した給食をランチボックスに入れ現地へ配送して対応する。
2歳児			
3歳児以上	昼：給食 預かり時：おやつ		

★野菜やお肉、調味料の仕入れ先リスト(2021年度実績)

場所	仕入先
佐久穂町	織座農園
佐久穂町	麦星農園
佐久穂町	ひとつぶ農園
佐久市	わかか農園
佐久市	けんの農産(米)
素材	品名
塩・しょうゆ	海の精
味噌	自家製 or マルカワ味噌
みりん	角谷文治郎商店本みりん

場所	仕入先
群馬県高崎市	大塚農園
埼玉県上里町	石井農園
埼玉県加須市	谷川農園
長崎県対馬市	(合)フラットアワー(魚)
山梨県北杜市	ぶうふうう農園(豚肉)
素材	品名
しょうゆこうじ	自家製
塩こうじ	自家製

◎有機つながり給食(ちいろばごはん)について (理念: つながるということ)

子どもは遊ぶ、寝る、育つ、しかし、その原動力となるものはまさしく食であり、食こそ命の源です。これを抜きにして、子どもの心と体を育てることはできません。

また、スキャモンの提唱する発達曲線の中で、「神経経路の発達」こそ、この幼児期に最も顕著なカーブを描きます。食は人間の五感全てをまんべんなく刺激し、命だけでなく、子どもの人間として生きていく神経感覚を育むのに必要不可欠なものなのです。「生きるって楽しい」の原動力です。

食をないがしろにしては、子どもの生活＝「生命が生き生きする」ことを保障できません。生命の本質を食で支えていく為に、ちいろばの試み「有機つながり給食」は、全ての土台となるものなのです。

この「有機つながり給食」の中で最も大事にしたいのは、「作り手の人となりがわかる食材、調味料を極力使っていく」ということです。つまり、有機的なつながりの輪が給食を生み出すのです。この考え方は、いわゆる単なるオーガニック給食の考え方をはるかに超越します。オーガニック食材であればいいというものではありません。

スーパーのお惣菜やコンビニ弁当に限界があるのは、その作り手が全く感じられない為であります。ちいろば理念の名の下に、「人と人とが関わり合う、繋がりが合う」ことを大事にしたい想いの中で、食もまた例外ではないのです。食べる時に、思わず作り手の笑顔が思い浮かぶような給食を子どもたちに提供したい。ちいろばと苦楽を共にし、歩んできた織座農園の窪川典子さんの存在があつてこそ、この給食は可能であり、ちいろばに関わる皆の命もまた、この繋がりの中でこそ育まれていくという感覚を是非共有したいと思います。

(わたにい)

◎給食の方法【ビュッフェ形式】

[ふたば・めばえさん 1～2歳児] 自分で！を大切に。

- ・ 無理に一律にすることなく、1人1人の生活リズムにあわせながら「いただきます」をします。
- ・ 1歳児の前半は手づかみ食べが中心になります。「自分で食べたい！」という意欲を最大限に受け止められるよう、サポートします。
- ・ 1人1人の発達や関心を見極めながら、スプーンや箸に移行していきます。道具は常に手元に用意しておき、その子が手を伸ばして掴んだら止めることはせず、見守ります。

[はなもも・やまぼうし・しらかばさん 3～5歳児] 仲間と、豊かに美味しくいただく。

- ・ 園外に行くときはお弁当に詰めます。お弁当ができたらスタッフが森まで運びます。
- ・ 園内での配膳時は、ビュッフェ形式を採用し、量を自分で選ぶことを大事にします。
- ・ 汁物は味噌玉を用意したり、現地で作ったりします。
- ・ 基本的には自分が食べたいときに、自分で判断して「いただきます」をします。苦手なものがあれば、最終的には自分で考えて量を調節していけるように援助していきます。

④給食室の都合により弁当持ちをお願いしたり、野外調理(カレー等)に切り替わる日もございます。
その場合は、予め、コドモンで連絡します。

5. 連絡について

電話番号	携帯電話	F A X 番号	所在地住所
0267-78-3919 (8時～17時)	なし 園長に直接は控える		〒384-0704 長野県南佐久郡佐久穂町 大字八郡2893
ちいろば Email	chiroba.mirai@gmail.com		
ちいろば HP	https://chiroba.schule/		
FACEBOOK	https://www.facebook.com/Waldkindergarten.Chiiroba		
コドモン	*欠席・バス変更・その他の連絡は全てコドモン連絡のみで受け付けます。 出欠連絡は、 朝8時 までをお願い致します。		

***原則、野外に出られない、食べられない等体調不良の場合はリスクが**

高まりますので、登園せず自宅で安静にしてください。

6. 保育の活動や形態について

本園は信州型自然保育（特化型）認定園です。一年を通じて四季折々の自然の中へ出て行う野外での活動を基調として、こども園を中心とした暮らしを作っていきます。八千穂地域の自然環境を活かし、自然を感じ心身ともに健康に育つことを願って保育を行っております。

年齢区分	年齢に応じた主な活動
1歳児	過ごしやすい天気・気候の日には屋外に出て、様々な自然の様子に触れます。幼い頃から自らの感覚で身の回りの出来事を感じられる環境を整えます。
2歳児	この年齢に適した外遊びや自然の中の散歩を行います。花や昆虫、小さな生き物の世界に触れ、自然の事物に興味関心が広がるようにします。
3歳児	森、野原、山、川などの多様な地域資源に日常的に触れ、自らの興味関心を探り、遊び込めるきっかけを作ります。ゆったりたっぷり遊べるよう整えます。
4歳児	興味関心の幅を広げ、様々な環境下において充実した遊びが展開できるよう整えます。自ら手と心を動かし、この環境下で仲間と関わることの尊さを感じられるような関係づくりを進めていきます。
5歳児以上	多様な環境に触れてきた経験を活かし、それを様々な形で表現したり、展開発展させたり（プロジェクト化）していく中で、世界をより身近に感じられるよう環境を整えていきます。〔暮らし〕をテーマとした、多様な活動に意欲的に取り組み、この〔空間・仲間・時間〕を過ごすことの安心、そして尊さを心から感じられる日常を送ります。

7. 行事について (かぞくさんごとについて) (実績)

令和8年度 行事リスト		行事の柱:ちいろばに関わる1人1人の理解を深める対話的な場 【生きるって楽しい!】の実践と、理念の体現	
頻度	行事名	ねらい・コンセプト	かぞくさんの関わり
	入園を喜ぶ会	・新しい出会いを喜びあう	どう迎えるか?
	卒園を祝う会	・皆で卒園児、卒園かぞくさんの節目・門出を祝う	どう見送るか?
	0-100運動会	・子ども心を呼び覚まし、刺激しながら、皆で楽しむ ・普段の子どもたちの遊びを追体験する	子どもの遊びの追体験
	内科検診(2回) 歯科検診(2回)・原検査(1回)	・子どもたちの健康確認	問診票の記入
	引渡し訓練(1回)	・災害伝言ダイヤルと抱き合わせ ・災害時の避難や引き渡しをシミュレーション	全員必須。指示を受け 子どものお迎え
	夏のお泊り会(年長)	・家族を離れ、社会的な仲間と共に1日を過ごしてみる ・ハイキングまたは登山をし、地元の環境に親しむ	見守る かぞくさん交流
	冬のお泊り会(年長)	・卒園前の横のつながりの思い出作り・卒園記念	見守る かぞくさん交流
	おうち掃除の日(12月)	・皆で使った園舎を皆でキレイにする	園舎さんを掃除 (窓・ワックス)
	アースデイ(4月)	・自然遊びブースを構える	参加自由
	入園説明会	・ちいろば理念の共有	かぞくの声
	田んぼ・稲づくり	・田んぼ・稲づくりを体験する～餅つきをする	参加可
	味噌づくり	・1年分のちいろばごはん味噌をつくる	参加可
	けんのすけくん田作り	・いつも食べているお米の作り手や風景を知る。(年3回)	参加可
月ごと	森の子ごはん	・同じ釜の飯を食う	参加可
	誕生を祝う会 (各月)	・生まれたことがこんなにも特別で素敵なことだと知り、みんな でこの日を喜び祝う日	かぞくさん主導
	かぞくさんの日(保育参加) (1日3組ずつ) *1~3学期事	・子どもの日常をのぞいてみる ・子ども心を思い起こし、子どもの遊びに付き合ってみる ・個別面談を行い、子の日々(保育・家庭内)の様子共有する	保育に参加する
	寄合(月1、年10回)	・かぞくさんとスタッフが混ざりあい、1人1人を理解し合う場 対話文化を育む。議題を話し合うこともある。	★参加・対話
	学期末寄合(年2回)	・学期末に、より多くの人に参加して対話し合う。 数少ない、皆が顔を合わせる場。	★参加・対話
	顔合わせ会(年度末)	・次年度の新入園かぞくさんの顔合わせや情報交換をする	★参加・対話
	集いの日 休日版 (年4回)	・「季節の食」をテーマに交流する。対話する。暮らす。 (子どもだけ預けるはなし)	交流・対話 親子参加
	てくてくの日	・自分たちの身近な地域のとの繋がりを知っていく	なし
	①大石区普請+織座草刈り ②ちいろば草刈り	・地域の関わりを深める・地域に貢献する	①②それぞれ1回以上参加 (年間で予定を組む)
	職員全体MTG+研修	・日々の保育や業務について対話的に話しあったり学びあう	14:30降園お願い
普請の日	ちいろばの暮らしに必要なことを、子どもから大人で! (テーマは3つ! 農・薪・環境)	参加協力!	
木村研究会	・それぞれ年5回ほど。環境コーディネータと共に 園庭・園舎環境のためのワークショップを行う。	研修時全員14:30降園(木村のみ) 研修任意参加	
	希望登園	・1号さんは休園。2・3号さんで、どうしても仕事都合で預けられない場合のみ、登園可	なし
	避難訓練(+総合訓練)	・災害や事故を想定し、動きを確認する	なし
	身体測定	・身体測定をする	なし
	織座の日(金曜) (5~10月)	・織座の生活から農ある暮らしを体感し、自分たちの暮らしとの 関連性を考える ・給食素材の始まり、成長を直に知る	時にお手伝いボラ
その他	法人理事会	・園の運営について、理事で話し合う。	理事の参加
	暮らしサークル	・「楽しい」「スロー」「子どもが感じられる」をテーマに、一人ひとりの 興味関心、チャレンジにあった、暮らしを作っていく・交流できる サークル活動を行う	任意の参加・立ち上げ
	やま保育研修・交流会	・長野にある自然保育団体と繋がったり、自然や子の育ちを テーマとした学びを深める	任意の参加

*行事検討やその他臨時的の会合、またコロナ状況に合わせて別途会議を開く可能性があります。

(例: 夜8時以降に、ZOOM会議をするなど)

*年間行事で決まっているものは、事前に予定を空けておいていただくと幸いです。特に寄合はご参加ください。

是非ご協力ください！

8. ちいろば“うたのほん”プロジェクト

ちいろばでは、たくさんの歌が生まれています。

おはよう、ありがとう、またね、

毎日の暮らしの、ひとつひとつの場面の
思いがいっぱい詰まった、みんなの歌です。



みんなの
写真も
いっぱい！

そんな歌をたくさん集めた、本をつくっています。
ちいろばにいる人、いた人、これから来る人に、
本を通じて歌をわたして、広げていきたい。

歌を知らなくても、本を見ながら一緒に歌ってほしい。
そういう思いで、本づくりがはじまりました。



音源もあるよ♪

この本をつくるプロジェクトを応援する輪に、
ぜひ参加してくれませんか？

イメージ動画
公開中！



「暮らし」って、もともとは
何かが生まれるところだったはず。

この「ちいろば歌の本」プロジェクトが、
子どもも大人も、忘れていた自分たちの「暮らし」を取り戻す、
そんなきっかけになったら、と思っています。

お気持ち1口 3,000円～（わたにいまで）

★応援してくれた人へ、本を1冊差し上げます

・本の郵送を希望する人は住所を以下までお知らせください